

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 「みと好文カレッジ運営審議会」
- 2 開催日時 令和8年2月17日（火） 午前10時00分から11時15分まで
- 3 開催場所 水戸市総合教育研究所 2階 研究室5・6
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委 員 櫃本真美代，池田悠紀，勝山万里子，西海純子，川井洋子，竹内青慈，小磯重隆，大内智栄子，小松崎良仁，田山善堂
 - (2) 執行機関 林栄一，菊池精一，長谷川ひとみ
- 5 議題及び公開・非公開の別
 - (1) 令和7年度みと好文カレッジ事業実施報告について（公開）
 - (2) 令和8年度みと好文カレッジ運営方針及び主要施策について（公開）
 - (3) 令和8年度みと好文カレッジ事業実施計画について（公開）
 - (4) その他（公開）
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数 0人
- 8 会議資料の名称
令和7年度第2回みと好文カレッジ運営審議会
- 9 発言の内容

議 長 それでは、議事に入らせていただきます。本日の案件につきましては、全て公開とさせていただきますが、よろしいでしょうか。

では、はじめに(1)令和7年度みと好文カレッジ事業実施報告について、事務局から説明をお願いします。

執行機関 ((1)について、資料に基づき説明。)

議 長 ただいま事務局から説明がありました(1)について、御意見や御質問等がございましたら、お願いいたします。

議 長 4ページの、希望校がなかった「茨城しぐさ」についてなんですけれども、学校単位で申込みだと思しますので、学校が受け入れるとすると、どういう時間帯の枠なら展開できると考えてらっしゃいますか。分かる範囲でお願いできればと思います。

____委員 私も、茨城しぐさはNPO法人ひと・まちねっとわーくさんの事業だということ

も良く存じ上げておりました、内容としては、自分たちのクラスを自分たちでより良くするためにどうしたら良いかという内容ですので、例えば道德であるとか、あとはみんなで学級ルールを作るときに、どういうしぐさが相手に思いやりをもったものになるかといった導入に使えるかと思います。学校側にもう少し分かりやすく伝えてもらえると、手っ取り早く手が挙がるのかなと思います。

議長 学校の道德の枠は、すでにやるべきことが詰まっています、空いている状況がないんですかね。

___委員 そうですね。そういうところがあるかもしれないですね。

___委員 色々な興味深い事業をありがとうございました。何点かあるんですけども、まず「3回とも」とか「2回とも」とか、ある程度の数の講座が受講者に連続参加を求めています。「長久保赤水」の講座の場合は連続講座で理解できるんですけども、それ以外の講座で連続参加というのは何か理由はありますか。特に、親子の場合には連続での参加は難しいことが多いので、できるだけ連続参加の条件を外す方向というのは検討できるのかお伺いしたいです。

根拠があつての連続なのか、人員を確保するためなのか、事務的な手続きなのか、それによって応募者側としては応募できるかどうかが変わってくるのではと思うんですが、いかがでしょうか。

執行機関 検討する価値はあると思います。長久保赤水は3回とも繋がりのある講座なので、連続参加が良いと思います。他の事業につきましては、「カラフルな暮らしのすすめ」の講座は毎回違うテーマだったりするので別な申込み方法も検討できると思います。ただパパやママ向けの講座については、例えばパパ向けの講座では、1回毎の申込み方法を以前やってみたんですが、あまり変化が無かった経緯もありまして、もとの3回連続参加に戻したところがあります。

___委員 パパといっしょに夢らんど（以下「パパらんど」と言う。）のお子さんの対象年齢の2歳～3歳という理由は、0歳対応の講座が別にあるからカレッジでは2歳～3歳対象のものをやるということなのですか。ほっとひといきママたいむ（以下「ママたいむ」と言う。）の場合はお子さんの対象年齢が就学前ということで、かなりの人数のお母さんが対象になっていて、それで応募倍率が高いことにも繋がっていると思うんですが、パパらんどの場合の応募倍率0.7倍というのはお子さんの対象年齢を限定していることにも起因するんじゃないかということがあります。

また、内容なんですが、パパらんどはどちらかというと体で遊ぶ、ママたいむは子どものケアをする、ジェンダーバイアスがかかっているような気がします。お父さんでもお子さんの仕上げ歯磨きなど子どものケアは率先してやっている時代なので、内容を混ぜるなどの検討や、対象を保護者にするとか、もちろん内容、時期などに根拠はあると思うので、なぜこのくくりになっているのかということをお聞かせいただきたいと思います。

執行機関 パparaんどの質問で、対象の2歳～3歳というのは、その頃から歩き始めるということで、一緒に遊び始める年齢ということを根拠にしていますが、これを4歳や5歳まで拡大することの検討はできます。対象者の性別は区切ってはないですが、事業の名称にパパとママがついてしまっているので、今後の検討材料にし

たいと思います。どちらもパパとママ両方を対象としています。

____委員 読み取るのは難しいですね。パパ、ママと掲げてしまうと、見る側が、特に今の若い人はわりと規範意識が強いので、よくよく見て応募するより、パパと書いてあるからダメ、ママと書いてあるからダメ、と受け止める方が多いです。このキャッチを検討する余地があれば、内容は大変良いと思いますので、対象を保護者という視点で参加できるようにしておくのが、子どもの育ちにとっては良いかなと思います。

執行機関 来年度の計画については計画済のこともあり難しいところではありますが、来年度以降検討したいと思います。

____委員 今年の参加者の方に御意見を聞きながらでも良いと思います。ただ、参加されている方々の声が全員の声ではないとも思います。

議 長 今後の検討として、確かにパパやママ等の言葉を使うと、限定的なイメージがつく反面、男性に参加して欲しい場合は何か良い表現はないですかね。パパと言われれば女性は入りにくいでしょうし、ママと言われれば男性は入りにくいでしょうし、パパママ両方でも良いのかもしれませんが、より男性に参加を促すようなキャッチーなものを検討いただければと思います。

____委員 次年度の話にも繋がると思うのですが、チラシの中でママたいむでは対象が保護者となっていて、パパらんどでは対象がお父さんとなっているので、パパらんどの対象をお父さんではなく保護者にしても良いのではという気がしました。

また、AIの講座なんてすごい人数が応募していて、それはNPO法人の公募企画とのことなので、やはり時代に合わせた講座はすごく需要があるのかなと思います。一方で茨城しぐさは、昨年もだと思のですが参加校がないとのことで、見直しも考えた方が良いのかなと。

今年応募がないから来年もないとは言えませんが、2年～3年応募がなければ、一旦やめてもいいのかなという気もしました。

執行機関 茨城しぐさは2年連続で申込みが0件だったので、来年度以降は計画から消していこうかと思っています。

____委員 年齢のことですが、小中学生、子育て中の方のほかに、高校生向けの講座というのは、学校の部活のこともあり対象外になっているのかと思いますが、これから部活が地域移行ということがありますので、高校生も対象にしていいただければと思います。

高校生や中学生は、学校で探究学習もしておりますので、例えば長久保赤水の地図も探求対象にしている子達がいると思うんですね。講師の方は大人向け講座そのままが良いと思うんですけども、対象者としては専門的知識を持っていれば高校生中学生も十分聞けると思いますので、彼らを対象年齢に入れてあげるといことも検討いただくと、学校教育とも少し兼ね合いができると思いますので、お願いしたいと思います。

議 長 積極的に何かやりたいという話ではないんですが、参加者の中で外国籍の方がいたかないか、いたとしたらどのくらいか聞きたいんですけども。

執行機関 申込み参加者には、外国籍の方はあまり見受けられません。

議 長 検討できるのであれば、地域の方々として外国籍の市民も段々増えているので、

なかなかそういう方たちが参加したいと思うメリットがないのか、参加に対して少しハードルがあるのか分かりませんが、ある程度参加すればその方達の意見も聞き取れることもありますので、そういったことも今後の検討に加えていただければと思います。

____委員 体を動かす講座やお金の講座など色々な講座があるんですが、本を読むというものの取組がないように見受けられます。パパらんどの中に英語をテーマにした講座があるんですけども、英語と同時に日本語を、今本当に言語能力のベースができていない子どもたちが多くなっておりまして、子育て中、それ以外でも本を読む、選ぶとか、AI時代にますますアナログのベースも必要になっていくと言われておりますので、本を読む、絵本を読む、選ぶとかそういう類いのテーマを入れていただけるとありがたいという希望でございます。

議 長 ほかに御意見いかがでしょうか。続きまして(2)令和8年度みと好文カレッジ運営方針及び主要施策について事務局より説明をお願いいたします。

執行機関 ((2)について、資料に基づき説明。)

議 長 ただいま事務局から説明がありました(2)について、御意見や御質問等がございましたら、お願いいたします。

議 長 私から質問ですみません。15ページの訪問型家庭教育支援事業なんですけど、全戸訪問するということなんですけれども、区域の小学校1、2校選んで全戸訪問なんですよね。事業展開の歴史的なことがあると思うんですが、ある程度区切ったところで全数調査をするという方針にはどう理由があるのですか。薄く広くもう少し広い地域からサンプリング的に調査するという方法もあるでしょうし、各学校から、少し懸念されるような家庭を選んで訪問するというところもあると思うんですけれども。

執行機関 全数不公平なく平等に訪問するという方針と、支援員さんの人数等もありまして、50世帯程度というところを設定しております。

議 長 ランダムだと偏りかねないから、エリアを区切って全数調査した方が全体の縮図のような形で調査結果を得るということで、全数調査に意味を持たせているということもありますかね。ありがとうございます。

ほかに御質問ありますか。では続いて(3)令和8年度みと好文カレッジ実施計画について事務局より説明をお願いいたします。

執行機関 ((3)について、資料に基づき説明。)

議 長 ただいま事務局から説明がありました(3)について、御意見や御質問等がございましたら、お願いいたします。

____委員 学校の方では今、学校運営協議会、コミュニティスクールというものがあります。学校の運営について色々御意見をいただきながらアイデアを出すのですが、そのアイデアを実際に動かしていくのが地域学校協働活動という実働部隊です。

そして例えば、「こんな人材が必要だ」という話が出た場合に、誰にお願いするのか、地域に協力してくれる人がいるか、どのように調整するのか、といったコーディネーター役、コーディネーターを担うのが水戸市では市民センター長です。

稲荷第二市民センター長はとても協力的で、今、稲荷第二小応援団という地域の人材バンクが作られてきており、色々な事業に入っていただいたり、センター

長の御協力で色々動いています。校長会で話をしていると、学校運営協議会に市民センター長が来ないとか、協力的ではないという話があり、どうしたら良いのだろうと話題になっていたんです。市民センターの所管は部局なんですよ。カレッジ主催の研修の中に市民センター長の研修も入っていて、今年度の実施は1月だったと思うのですが、とすると市民センター長が1年間役割が分からないままだったりすることもあったのかなと思いました。

4月に市民センター長と会計年度職員の方の同時研修があるので、その中で市民センター長の役割としてコーディネーターも明記してもらい、事例など紹介してもらえると学校として助かるなというところがあります。

執行機関 地域学校協働活動は、まだ市全体では取り組めていない状況がございまして、稲荷第二小は今年度からで、やっている学校とやっていない学校があります。市民センター所管の市民生活課とも連携を取りながら、新任の市民センター長のところへ訪問した際にはそういった指導もさせていただければと思います。

執行機関 補足ですが、やはりそういった声が結構ありまして、今年度で言いますと新たに市民センター長を集めた、コミュニティスクールの共同研修会も開催しております。そういった中で各長がしっかりと取り組んでいけるようにしておりますので、再度私のほうからも市民生活課と連携を取ってやっていきたいと思います。

____委員 今のコミュニティスクールの件で、参考までなんですけど、小美玉市の教育委員会付けで、社会教育主事の方が地域と学校の中で活動していてすごいです。コーディネーターも市民センターの方ではなく色々な地区のキーパーソンの方々がやられていて、全国的にも有名なもので、もしかしたら視察に行かれても良いかもしれません。

また、先ほどもNPO法人の公募の話をしたのですが、実際に公募は何件くらいあるのでしょうか。

執行機関 今年度からというのもあり、今回は1件です。

____委員 今後も周知次第では増えるかもしれないですね。採択件数の限度は決まっているのですか。

執行機関 予算もありますので、4件程度かなと思います。

____委員 AIの講座がすごくヒットしていて、NPO法人の方も色々な社会情勢を良く知っていると思うので、できれば新しい何かをやるという面ではもう少し公募数があるといいのかなと思います。

議 長 少し雑な質問ですが、公募に手を挙げるNPO法人や団体のメリットは何でしょうか。

執行機関 講座をやることで団体の知名度が上がって、それによりNPO法人が独自で企画している講座への参加者が増えるのではないかとことはあります。

議 長 講師謝金なり、開催ではそんなに儲からないですよ。メリットがないと手を挙げてくれるところも少ないのではないですか。金銭的なメリットでもあれば手を挙げると思うんですけども、受講料を受益者負担でというわけにもいかないですし、例えば人気講座だったらお金を払ってでも受講する方はいらっしゃると思うんですけども、いずれにしても手を挙げる動機がないかなと思うんですけども、動機付けを何か作れないですかね。利益誘導になってはいけないし、いつま

で経ってもボランティア要素で手を挙げてくれているとなると、講座内容も皆さんが望んでないものになるかもしれないので、うまく一致するような点を見つけるために大切なことなのかなと思います。

____委員 生成 AI を実施した NPO 法人に払った金額は、資料を見ると 2 万 2 千円ですか。
執行機関 訂正します。4 万 2 千円です。

議 長 それでも毎日やるものではないですから、なかなかそれだけの額では厳しいですね。大きな会社が社会貢献として活動する面から講座を実施するようなことであれば金銭的な問題はクリアできるかもしれないです。

時代に合った新しい企画を、我々発信でもいいのですが、公募として御提案いただくのとすると、公募に何か一切れを入れていかないと、集まるものも集まらないのかなという気がしますね。御検討ということでお願いできればと思います。

____委員 現代的課題という言葉がよく出るのですが、具体的にどんなことを想定されているのか少しお聞きしたいです。

執行機関 高齢者詐欺ですとか、災害、健康問題ですとか、そういった地域で課題になっているようなテーマをやっていききたいと考えています。

____委員 今までも言われてきたような課題なんですけど、本当に先が読めない時代なので、何が今ホットなのかを探すことはすごく難しいと思いますので、先ほどと重複しますけれども、色々な方と提案なり連携なりして、情報収集なども一緒にやられると、より参加者が来るのかなと思います。

____委員 それに関連すると、茨城しぐさは NPO 法人ひと・まちねっとわーくさんが平成 20 年くらいからやっているんです。以前務めていた中学校でも実施したんですが、学校には色々な講座案内やチラシが沢山入ってきて、その中で茨城しぐさに手を挙げるかという、なかなかハードルがあります。似たようなことは道德の時間にやってますし、そうすると、付き合いで手を挙げるくらいで、普通なら回覧としてチラシを見て通り過ぎるだけになってしまいます。茨城しぐさは、ずっと残しておくことは、なかなか厳しいと思います。

もう 1 つ、学校としてこういうのがあったらありがたいというのは、水戸市内では全ての中学校でフリースクールが立ち上がったんですけど、フリースクールの指導する方の研修や、生活支援員さんが学ぶ機会などがあると、学んだことがすぐ活かせて、学校としても非常にありがたいと思いますので、御提案です。

執行機関 総研に聞いてみないと分からないのですが、フリースクールの先生に対する研修は総研でやっていると思いますので、確認してみます。茨城しぐさにつきましては、先生が言うように道德で同じような授業をやっているの、なかなか手が挙がらないという実情が件数に現れているのかなと思います。また、県のほうでも水戸市と同じような事業をやっているんですが、聞いてみたところ、実績はないようなので、来年度以降は計画から消していこうかと思います。

____委員から出た、現代的課題で何の講座をやりたいかということですが、毎回参加者にアンケートを取り、次回どんな講座をやりたいかを書いてもらっているの、そういったものを参考にしながら企画していきたいと思います。

____委員 ちなみにその中で多い傾向などはありますか。

執行機関 やはり今現在はプログラミングやAI, AIはこの前は初心者向けだったんですが、その続きを希望する方などが多いです。また、座学ではなく体験型を希望する方が多いです。

___委員 多胎児のお母さんは行くところが限られてしまって、多胎児の方向けの講座がないのが現状です。居場所に関しても、水戸市には多胎児のサークルなどもあるんですが、ひたちなか市には全然無いので、日立市の方やひたちなか市の方が水戸までいらしたりしているんです。それも月に1回だけとか。そういった方向けの、限定的ですけど、多胎児の方の講座も検討していただけたらと思います。ちなみに、NPO法人の公募講座を知らなかったんですが、応募はどういった形でやっていたんですか。

執行機関 ホームページに載せていました。

___委員 特にNPO法人に個別にお知らせするなどは、していませんか。

執行機関 連絡するしないで不公平が出てしまうので、ホームページに載せました。

___委員 あと、不登校のお子さんが増えていて、そのママさん達の講座も検討していただきたいなと思います。

議 長 新しいものをやる時には失敗することもあり、なんでこんなことをやったんだと、後々怒られることもあったりしますが、必ずうまくいくものだけ選んでやるのもどうかと思います。

一つやり方としては、例えば年間の参加受講生総数の2割に相当するようなものは強制的に新規事業だというように縛りをかけると、スクラップアンドビルドというか、縛りをかけたほうが動いていけるのかなと思います。

ノルマみたいで嫌な気もしますが、そうではない中で新規事業をやろうとすると、責任を取らされる感じになってくるので、枠があるほうが新規事業がやりやすいのかなと思います。

___委員 その意味だと、新しい事業をやる時は、おっしゃるように失敗する可能性もあるので、チャレンジ枠という形で「今回1回限りでやる枠です」という設定をして、うまくいかいかないかを織り込み済みで挑戦してやってみる枠です、とすれば、結果的にうまくいかないものがあったとしても良いのではないかと思いますので、敢えて実験的にやってみる設定の仕方もあるかなと個人的には思っています。

議 長 ドローンにしてもAIにしても現代的という意味では地域にニーズが沢山あるものもあります。ニーズがあるものばかりやるのもいかなものかというがあるので、マイノリティな意見も実現していくことが大切だと思います。

また、人気がないもののほうが本当にチャレンジングなことになって価値があるということも考えられるので、難しいところですが、御提案いただいたようなチャレンジ枠もとてもよろしいのではないかと思います。

___委員 異文化や多様性についての講座が意外と入っていないのですが、人気がないのでしょうか。

議 長 あるにはあると思います。そういった人たちも、自分のお子さんが日本で健やかに育つよう願っているんで、子育て一つとってみても悩んでいる方はとても多いので、ニーズはとてもあると思うんです。

___委員 水戸も色々な方がいらっしゃるので、もしかしたらそういった方々と会える機

会にもなるような、もう少しダイバーシティ的なものがあればと思います。

執行機関 水戸には国際交流協会があるので、似たようなものをそちらでやっているの、聞きながら進められればと思います。

___委員 ユネスコでは日本のお茶を外国の方と楽しむという学問もしています。このカレッジの講座でいうとカレーのナンを基本に色々な国のカレーという大きな枠で色々な国の方が集合して、そこでまた話ができるということがあるので、多文化や共生という視点を入れる講座も企画すると色々と広がるのではないかと思います。ほかの文化を尊重するわけではなく、日本の文化から海外の文化を見るということにも繋がりますので、是非。

議 長 その次の議題の「その他」の部分に移りますが、事務局から何かございますでしょうか。

執行機関 その他についてはないです。

議 長 以上全ての議題が終了いたしました。委員の皆様には円滑な進行に御協力いただきまして、ありがとうございました。